



真壁助教授

大学院農学研究科機能性食料開発学専攻の真壁助教授が、平成18年3月25日（土）に開催された2006年度日本農芸化学会で、若手のすばらしい研究業績に対して送られる日本農芸化学会奨励賞を受賞しました。

受賞となりました業績は「呼吸鎖電子伝達系を阻害するバンレイシ科アセトゲニンの有機化学的研究」です。同学会は大学会で、会員総数は約3万人おり、この春の大会での発表演題数は2949件と、膨大な数の中での受賞となりました。

また、本学農学部では、同賞を昭和47年に寄藤高光先生が受賞され、この賞の前身である農芸化学賞を昭和33年に清水純夫先生が受賞されています。